



## 目次

- 1 ライツDVD紹介「もがれた翼 Part. 19」
- 2～3 「家」のない子どもたちの避難所
- 3 ことば解説
- 3 わたしの転機 有田元之さん
- 4 今こそ、たくさんの遊びを 松尾直博さん
- 4 離婚のとき一夫の貯金は誰のもの 河村文さん
- 5 あしあと 森谷セツさん
- 6 こくぶんじの野菜 うどの三色春巻き
- 6 そうだったのか、介護保険
- 7 ライツ主催講座 講師名言集
- 8 「ライツこくぶんじ」からのお知らせ
- 8 ライツこくぶんじ市民のための無料相談
- 8 編集後記
- はさみこみ ライツライブラリーニュース



## ライツDVD紹介

### 「もがれた翼 Part.19」

(2013年12月/東京弁護士会 子どもの人権と少年法に関する委員会)

「勉強しなさい」という親に追い詰められ、「もう死にたい……」と思う子ども。

「もがれた翼」は、少年事件やいじめをテーマに子どもたちと弁護士たちでつくる演劇シリーズ。Part. 19のテーマは「教育虐待」。

高校生の優一は成績が落ちたことを母親から責められる。毎日時間も耳元で怒鳴られ、携帯電話や机の中を勝手に見られる。勉強が済むまで夕食は抜き。部活は辞めさせられる。「お母さんがいわなかったらいくらだってサボるくせに」、「このでぎこない」。心も体も共に疲れ果てた優一は、子どもシエルトー「カリヨン子どもの家」へ逃げて来て……。

「教育」の名を借りた「虐待」。教育は誰のためのものなのか。  
(概ね90分)

※ライツこくぶんじで無料貸し出しできます。